随筆

第77回

正月に思う

市長　明智　忠直

平成28年もはや一か月が過ぎました。皆さんも新しい年の始まりに、夢や希望を思い描き、頑張ろうとスタートを切ったことと思います。

さて今年も新春の恒例行事、消防出初め式と成人式が行われました。毎年この二つの行事に臨みますと、新しい年が始まったのだと、気分の盛り上がりを感じます。そして世の中の流れ、世相を反映させているような思いを持つところであります。

9日に行われた消防出初め式。郷土愛護、献身奉仕という消防精神が、どれほど現在の若者に理解されているのか、式典の中で感じとることができます。消防職・団員の点検、行進などでの規律は、総じて非常に良かったと感じたところです。消防の使命は、火災や災害などから市民の生命、身体、財産を守るということ。旭市の安全・安心な暮らしのよりどころであります。今年も消防職・団員に、地域の安寧を託したいと思います。

翌日の10日に行われた成人式。今年の新成人は昨年よりやや少ないということですが、会場の東総文化会館はほぼ満席で、特に二階席は家族の皆さんで溢れんばかり。市民のみんなが新成人を祝ってくれているかのようでありました。代表5名による意見発表では、大人としての責任と自覚、家族や先生などへの感謝の言葉があり感動をもらいました。5年前の東日本大震災では、卒業を間近に控えた中学校3年生だったということで、復興と共に一人一人がさまざまな経験をしてきたことと思います。この日、そんな新成人の心の成長を強く感じた素晴らしい式典でありました。